

| | | | |
|---|----------|----------------|----------------------|
| 1 | 議席番号 3 番 | 大石 巖 議員 | 開始予定時刻 3月15日 午前9時 |
| <p>【中部電力㈱浜岡原子力発電所との安全協定について】</p> <p>川内、伊方、高浜などの原子力発電所は、立地自治体と県との同意だけで再稼働が進められていることに、それぞれの地元住民から反対の声が起こっている。</p> <p>東日本大震災における原発災害の教訓から浜岡原発は、E P Z 圏（防災対策を重点的に充実すべき地域：おおむね10km）からUPZ圏（緊急防護措置区域：おおむね30km）内にある吉田町を含む5市2町も安全協定締結の必要性が共通認識となり、昨年2月から中部電力㈱との協議が進められている。</p> <p>原発事故を防止するため、施設の変更を行う場合には11市町の事前了解を得るなどの実効性ある協定となることを望み、以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 吉田町を含む5市2町及び静岡県と中部電力㈱との原子力安全協定の意義及び協定の骨子とはいかなるものか。 2 安心して暮らしたいと願う町民の声を反映させるため、原子力施設の変更および原子炉の稼働を行う場合は11市町の事前了解を得ることの条件は入るのか。 3 原子力施設の管理運営に起因する、住民生活、生産活動等への損害を補償する条項はあるか。 4 浜岡原発の再稼働、事故の発生に対する町民の不安は大きい。町民アンケートなど、意見集約して協定に活かすことは考えないか。 | | | |

| | | | |
|--|----------|-----------------|-----------------------|
| 2 | 議席番号 9 番 | 増田 剛士 議員 | 開始予定時刻 3月15日 午前10時 |
| <p>【指定文化財及び歴史的文化財等の保護、活用について】</p> <p>第5次総合計画前期基本計画にて、文化財の保護と活用の課題として、「歴史的、文化的に価値のある文化財は、後世に受け継ぐとともに、郷土への愛着を深めていくための資料として保護・活用することが重要です。」と示されている。</p> <p>また、吉田町教育大綱第3章基本方針にも同様に「郷土に愛着と誇りを持ち続けて行くには、地域の歴史や伝統文化を学び、良いところを発見していくことが必要です。」とあります。</p> <p>町の多くの指定文化財、歴史的文化財及び民間伝承の保護、活用について以下質問致します。</p> | | | |

- 1 町指定文化財の指定の根拠は。
- 2 町指定文化財所有者の管理に対する支援、補助は。
- 3 国、県指定文化財所有者に対し町の対応は。
- 4 文化財に関し児童、生徒への教育は。
- 5 町の歴史を物語る地域民間伝承に関し町の対応は。

| | | | |
|---|----------|-----------------|-----------------------|
| 3 | 議席番号 4 番 | 遠藤 孝子 議員 | 開始予定時刻 3月15日 午前11時 |
| <p>【組織機構改革による子育て支援と生涯学習における吉田町の将来像について】</p> <p>町長は施政方針において、「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点プロジェクトとして位置づけた「第5次吉田町総合計画及び前期基本計画」が策定されたことについて述べられました。</p> <p>この計画を着実に推進するために、新組織が編成されました。</p> <p>そこで、次のことについてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て支援策の充実と教育の幼保小中連携の確立を目指し、「児童福祉部門」「保育支援部門」を編成し新たに「子ども未来課」を設置しました。吉田町の子ども達を健やかに育むための一貫した施策はどのようにお考えですか。 2 教育大綱に基づく教育の推進と地域連携の強化を図るため、教育委員会に「生涯学習課」を設置しました。町民が学び続けられる新たな環境づくりをどのようにお考えですか。 3 「シニアカレッジ事業」の具体的な計画と期待する成果をお聞きします。 <p>【高齢者の居場所づくりについて】</p> <p>吉田町の高齢者支援事業がさまざま形で展開されています。</p> <p>さらに、新組織では地域包括ケアシステムの構築を目指すことが示されています。</p> <p>具体的なこととして、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため住民主体の「高齢者の居場所づくり」活動が始まっています。</p> <p>その実態と今後の支援対策についてお伺いします。</p> | | | |

| | | |
|--|------------------|----------------------|
| 4 | 議席番号10番 藤田 和寿 議員 | 開始予定時刻 3月15日 午後1時 |
| <p>【吉田町まちづくり公社について】</p> <p>平成28年度に設立される一般社団法人吉田町まちづくり公社は、第5次吉田町総合計画基本構想案と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にある賑わいづくりや地域産業の活性化を促進する核となることが、町長の施政方針と平成28年度予算案で明らかになりました。</p> <p>具体的には、1つ目として、総合戦略の基本目標3「本町への新しいひとの流れをつくる」ため、シーガーデンシティ構想の防災発信拠点の整備として、「北オアシスパーク」の指定管理を委託すること。</p> <p>2つ目は、同構想の賑わい創出のための体制づくりとして、町内立地企業と行政との連携を図るためのパイプ役を行うこと。</p> <p>3つ目は、「吉田町創業支援ネットワーク」の協力機関として、平成27年度補正予算の地方創生加速化交付金事業の企業創業支援を行うこと。</p> <p>4つ目は、同交付金事業としてまちづくり情報発信プラットフォームの構築を行うこと。</p> <p>5つ目として、広域連携による水産物等を活用した産業の活性化を図ることなどが予定されています。</p> <p>そこで、上記事業展開を町と連携していただく一般社団法人吉田町まちづくり公社について、以下町長に伺います。</p> <p>1 民間ならではの切り口と言われています。上記各事業でどのような役割を期待されていますか。 事業ごとをお願いします。</p> <p>2 既存の団体でなく新たに設立することと、NPO法人でなく一般社団法人とされたのは、どのような理由からですか。</p> <p>3 どのような定款と人選で設立を想定されていますか。</p> <p>4 まちづくり公社負担金として、1,337万7千円予算計上されています。 また、その他関連する事業予算を合わせると、6,400万円程の予算規模となります。 町との関係はどのような形となるのでしょうか。</p> <p>5 重要なシーガーデンシティ構想を担う公社です。 有能なスキルと経験を持つ方に活躍していただくために、どのような形での公募採用を望まれますか。</p> | | |

| | | | |
|---|----------|-----------------|----------------------|
| 5 | 議席番号 8 番 | 杉本 幸正 議員 | 開始予定時刻 3月15日 午後2時 |
| <p>【産業の育成支援について】</p> <p>平成28年吉田町議会3月定例会において、第5次総合計画基本構想(案)第3章「活力あふれる産業振興のまちづくり」の中に、地域に根付く産業を育成・支援すると謳っておりますが、次の点についてお伺いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 農業及び沿岸漁業は、後継者及び新規就業者の確保が非常に厳しい現在、町の対応及び対策についてお伺いたします。 2 農業の安定した経営のためには、農業生産基盤である農地の確保及び耕作放棄地を有効利用するための町独自の施策はあるか。 3 既存の商業は、大規模小売店舗やコンビニエンスストアなどの進出により、経営者が減少するとともに、集客力が低下し厳しい経営状態です。この対応についてお伺いたします。 4 町内の建設業及び設備業者等は、公共事業の減少や他市町業者との競争により、大変厳しい経営が続いています。町は、公共工事を発注し、業者を育てる必要があると考える。町の考えについてお伺いたします。 | | | |

| | | | |
|---|----------|----------------|----------------------|
| 6 | 議席番号 6 番 | 山内 均 議員 | 開始予定時刻 3月15日 午後3時 |
| <p>【公共下水道整備事業の見直し及び合併処理浄化槽普及の検討について】</p> <p>第5次吉田町総合計画前期基本計画、第6章 豊かな自然と共生するまちづくり。下水道・浄化槽についてお聞きいたします。</p> <p>公共下水道の整備については、事業計画区域の拡大が示されている。浄化槽の整備による生活雑排水対策では、合併処理浄化槽設置の促進が示されています。</p> <p>平成26年度末の整備面積は下水道事業計画区域面積340haに対し、259haとなっています。</p> <p>全体計画区域面積は920haであり、平成26年度末の整備状況は28.15%です。吉田町の面積は2,084haですので、全体では12.4%です。</p> <p>しかも、事業開始以来26年経過しています。進捗状況から推測して完成までどのくらいかかるか心配しています。</p> <p>参考資料を提出させていただきました。</p> <p>平成26年度末における「公共下水道事業費年度別事業費内訳表」を参考にすると、公共下水道事業費は212億9,752万円となっています。</p> <p>公債費は88億7,300万円ということでした。</p> | | | |

平成26年度末までに費やした費用は、合計すると301億7,050万円です。

平成26年度末の完了戸数は、2,989戸ですので、単純に計算すると、1戸当たりの下水道整備費は約1,000万円になります。

一方、合併処理浄化槽の工事費は条件によって異なりますが、1戸当たり約80～100万円位です。

工事費まで補助しても下水道整備の1/10位です、しかも、水道や電気及び管理費用等は各戸でまかない税金への負担はありません。

下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽の設置には、国庫補助と県費の補助があり、補助率は浄化槽本体の約47%です。

計画区域の設定の見直しによっては、設置補助金を多く利用することもできるのではないのでしょうか。

提出した資料「吉田町浄化槽設置費補助金支払実績一覧表」には、基数と補助金額が示されています。

平成26年度までに1,486基利用されています。受益と負担の関係でも、先の見えない下水道事業より合併処理浄化槽の設置の促進は合理的であると思います。

また、合併処理浄化槽設置補助金等を利用し、耐震工事やリフォームの需要ができる可能性があるのではないのでしょうか。

ちなみに、合併処理浄化槽は台所等から出る雑排水も処理する能力と機能を備えています。小さな浄化センターのようなものです。

平成27年度、28年度に全体計画の見直しを行うということでした。

以下質問します。

- 1 進捗状況から推測して全体の完成までどのくらいの期間がかかると見込んでいますか。
- 2 完成までにいくらかの費用がかかると見込んでいますか。
- 3 合併処理浄化槽設置のメリットは多くあると思います。どのような見直しを進めていますか。
- 4 受益と負担についても合併処理浄化槽の設置の促進は合理的であると思います。どのように考えていますか。
- 5 合併処理浄化槽設置補助を利用した単独から合併処理浄化槽への更新を機に、住宅の耐震化も促すことができるとは思いますがいかがですか。